

PRESS RELEASE

 2021年4月28日
 関西エアポート株式会社
 株式会社大林組

関西国際空港 T1 リノベーションにおける工事契約締結について

関西エアポート株式会社（代表取締役社長 CEO：山谷 佳之、代表取締役副社長 Co-CEO：ブノア・リュロ）と株式会社大林組（代表取締役社長：運輸 賢治）は、「関西国際空港第1ターミナルビルリノベーション工事」の工事契約を締結しましたことをご知らせいたします。

当リノベーションは、関西国際空港における国際線キャパシティの拡大や旅客体験の向上を主目的に実施するプロジェクトであり、大阪・関西万博の開催までに主要機能の供用を開始すべく、2021年5月28日（金）に本格的に工事がスタートする予定です。

関西エアポート株式会社 代表取締役社長 CEO の山谷 佳之と代表取締役副社長 Co-CEO のブノア・リュロは「関西国際空港 T1 リノベーションの工事契約締結に際し、ご支援いただいた関係の皆様にご心より感謝申し上げます。関西経済の発展を考える上で大切な役割を担う国際空港として、今後の航空需要に着実に対応していくとともに、2025年大阪・関西万博の際にはファーストパビリオンに相応しい機能を提供し、お客様に快適で新しい旅の体験をしていただける空港をめざしてまいります。」と述べています。

株式会社大林組 代表取締役社長の運輸 賢治は「関西国際空港がお客様に新たな役割と体験を提供するとともに、訪日外国人にとってのファーストパビリオンとして大阪・関西万博を盛り上げることに貢献できるよう、品質の確保はもとより、施工中の安全衛生管理にも万全の対策を講じるなど、施工会社として全力で尽くす所存です。」と述べています。

両社は、引き続き関係の皆様と連携し、世界のお客様を迎える関西地域のゲートウェイである関西国際空港の機能強化に向けて、強固なパートナーシップのもと着実にプロジェクトを進めてまいります。



※パースはイメージです

【工事スケジュール】

- 2021年5月28日 T1 リノベーション工事本格スタート
- 2022年秋頃 2F 新国内線エリア等運用開始
- 2023年冬頃 2F 国際線出発エリア中央等運用開始
- 2025年春頃 4F 新保安検査場及び 3F 国際線ラウンジ運用開始 ※空港主要機能完成
- 2026年秋頃 2F 国際線出発エリア南北商業施設運用開始

関西エアポート株式会社について (www.kansai-airports.co.jp/)

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

株式会社大林組について (<https://www.obayashi.co.jp/>)

株式会社大林組は、1892年の創業以来、時代を象徴する数々のプロジェクトに携わり、関西国際空港においても、1987年に空港島関連工事を施工して以来、ターミナル施設や格納庫、プラント施設などの工事を施工してまいりました。2021年1月には創業から130年目を迎え、グループとしてのブランドビジョン「MAKE BEYOND つくるを拓く」を掲げ、既存の事業の枠にとらわれない成長をめざしています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel: 072-455-2201

株式会社大林組
コーポレート・コミュニケーション室広報課
Tel: 03-5769-1014